

【復興支援道路】

一般国道397号新小谷木橋(仮称)下部工工事に着手

県南広域振興局土木部

【工事安全祈願祭】

県が「復興支援道路」として奥州市水沢区東中通り～羽田町間で整備を進めている一般国道397号小谷木橋工区において、一級河川北上川を横断する新小谷木橋（仮称、橋長597m）の下部工工事に着手することに伴い、工事期間中の安全を祈念するため、受注者の主催により平成27年11月19日（木）に安全祈願祭が開催されました。

安全祈願祭には、県議会議員、市長、市議会議員、国土交通省、県、市、地元関係者等約60名が出席し、鍬入れや玉串奉てんなどの神事が行われました。

受注者を代表して、(株)小田島組の小田島直樹代表取締役が「限られた工期の中、無事故で良いものを施工することが私たちの役割です。」と決意を述べられました。



神事（鍬入之儀）の様子



神事後の代表者（受注者）挨拶の様子

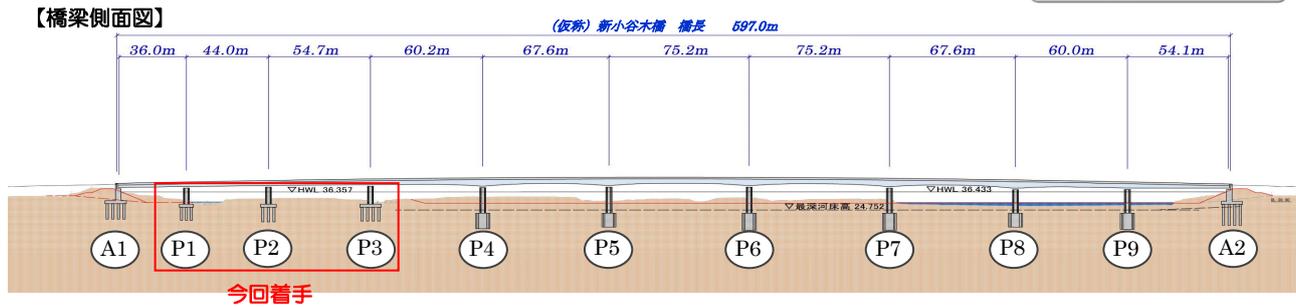
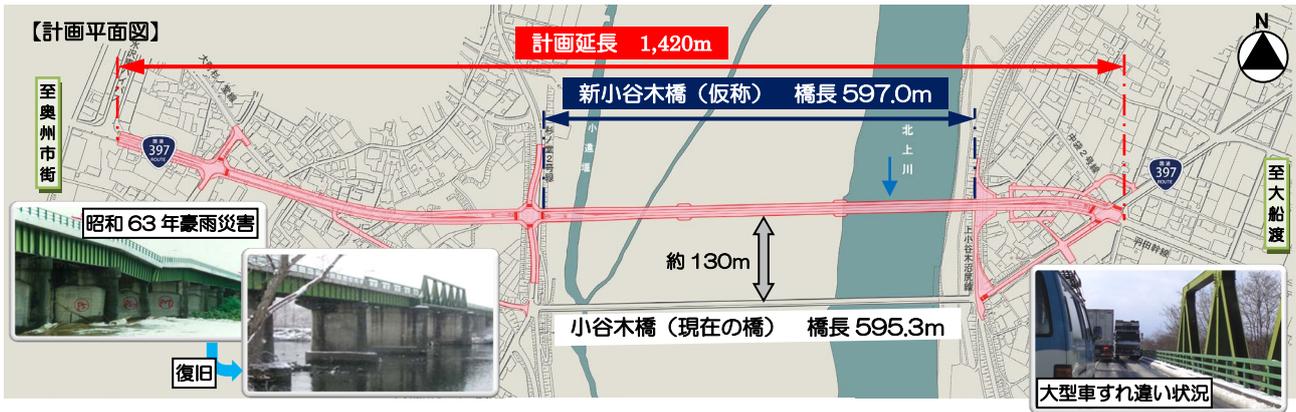
【事業概要】

県では、岩手県東日本大震災津波復興計画に基づき、三陸沿岸地域の復興と安全・安心を確保し、災害に強く信頼性の高い道路ネットワークを構築することを目的として、三陸復興道路整備事業を実施しています。

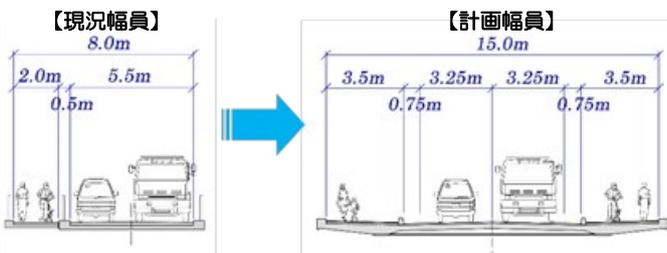
「復興支援道路」に位置付けた一般国道397号の小谷木橋工区については、老朽橋（昭和29年架橋）の架替に向けて重点的に整備を進めています。

小谷木橋工区の概要

- (1) 計画延長：1,420m
- (2) 計画幅員：一般部6.5（16.5）m、橋梁部6.5（15.0）m
- (3) 事業期間：平成24年度～平成36年度
- (4) 全体事業費：約85億円
- (5) 主要構造物：新小谷木橋（仮称、橋長597m）
- (6) 整備効果：①安全で円滑な交通機能の確保 ②物流の効率化
③災害時等の緊急輸送道路としての機能強化 ④地域間交流・連携の促進



新小谷木橋（仮称）の形式
 上部工—鋼 10 径間連続合成 2 主鉄桁
 下部工—逆 T 式橋台（杭基礎）
 壁式橋脚（杭基礎、ケーソン基礎）



- 新小谷木橋（仮称）下部工工事の概要**
- (1) 工 事 名：一般国道 397 号新小谷木橋（仮称）下部工（P1、P2）工事
 一般国道 397 号新小谷木橋（仮称）下部工（P3）工事
 - (2) 概 要：(P1、P2) 工事 橋脚工 2 基、場所打ち杭工 35 本
 (P3) 工事 橋脚工 1 基、場所打ち杭工 20 本
 - (3) 工 期：平成 27 年 9 月 11 日～平成 28 年 7 月 2 日
 - (4) 契 約 額：(P1、P2) 工事 255,722,400 円
 (P3) 工事 179,992,800 円
 - (5) 受 注 者：株式会社小田島組

【おわりに】

新小谷木橋（仮称）のデザインは、景観検討委員会、ワークショップなどを開催し有識者、地元中学生を含む地域住民の皆様などからいただいた提言・アイデアを反映し、計画しています。

基本コンセプトを「河川空間及び遠方の山並みの風景と調和した橋」として橋詰広場や橋上にバルコニーを設置することとしています。今後は、高欄、照明等のデザインについてもワークショップなどを適時開催する予定としています。



△橋詰広場のイメージ



△バルコニーのイメージ